



吹奏楽部をはじめ、ステージ発表団体によるファンファーレが開幕の合図となり、曇り空も晴れ渡るような盛り上がりの中、山村国際高等学校第六十七回紫藤祭が開会した。昨年に引き続き、九月十五日（土）・十六日（日）の二日間にわたって開催され、校内では生徒の熱気ある発表や工夫を凝らした様々な催しが行われた。各クラスの模擬店はいつも通り山村国際らしい活気で満ち溢れていたもので、文化部では書道、イラスト、華道、写真部が日ごろの成果である素晴らしい作品の数々を展示した。

生徒会企画では全生徒、全職員参加型のイベント『僕、私の運命の人』を開催した。昨年よりもバージョンアップしたもので、紫藤祭を一層盛り上げる良い企画となった。

- 各賞の受賞は次の通り
- 紫藤賞 吹奏楽部
- ステージ賞 ダンス部
- 企画賞 書道部
- 装飾賞 三年八組
- クラスTシャツ賞 一年九組
- ポスター 神田 祐実



ステージ発表では、バトン部、吹奏楽部、軽音部、ダンス部、よさこい部、英語部がたくさんのお客様に感動を与えた。また二日目の最後にはステージエンディングとして、全ステージ発表団体での夢のコラボレーションを実現させ、会場全体を一体感に包んだ。

今年の紫藤祭のテーマは『君の青春レポリューション そんな山国ファンタスティック』だが、山国生や来校してくださったたくさんのお客さんにとって『青春』となったのではないかと。

発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田1-2-23
☎ 049-281-0221

印刷所
有限会社 須賀印刷

<http://www.yamura-kokusai.ed.jp>

ケガとむきあう

校長 山田良秋

毎日新聞掲載記事を過日読みました。二人のアスリート三宅宏美（重量挙げ）と竹内智香（スノーボード）の対談記事です。三宅選手はロンドン五輪の銀メダリストです。竹内選手は平成五輪に出場です。三宅選手はお父さんが有名ですが、竹内選手のこととは知りませんでした。二人の共通項となるキーワードは「ケガ」です。二人のケガとの向き合い方が書かれています。自分の致命的なケガとうまく付き合い長く競技を続けているのです。私も両アキレス腱にシコリ（部分断裂のあと）があり、長く陸上競技を続けるため、競技場に魔法瓶を持参し、タオルにお湯を浸しアキレス腱を温めてからウォーミングアップを始め、競技に出場したことがあります。人は誰でも自分の肉体的や精神的欠点があるはずで、それを自分の弱点として確実に理解し、上手に付き合うことが必要だと思えます。

蝸螂

来年のNHK大河ドラマ『いだてん』の登場人物の一人、押川春浪（二八七六―一九一四）は明治の作家で、冒険小説というジャンルを確立した人物である。代表作に、昭和の東宝特撮映画で平成のゴジラ映画にも登場した『海底軍艦』が挙げられる。春浪は明治の日本にスポーツを広め、特に愛したのが野球であった。明治に我が国に入った野球は、当時の社会では非難の対象となった。精神修練を重要視してきた武芸に比べ、娯楽性の強い野球は嫌悪感を抱く者が多く、初の早慶戦が話題になり人気を広めていったことに対し、当時の東京朝日新聞を始め、多くの媒体が野球を批判した。対して春浪は多くの雑誌に反論を掲載、反野球の立場であった教育界の大物（五千円札の肖像にもなった）新渡戸稲造に対しても激しい攻撃をしたのである。しかし結局、権力には勝てず、謝罪を余儀なくされた春浪は失意のまま三九歳の生涯を終えた。それでも彼の弟、押川清は日本のプロ野球創始者となり、現代では野球は日本の国民的スポーツとして大リーグに比肩するほどになっている。さぞかし泉下で溜飲を下けていることだろう。

イングリッシュキャンプ

10月11日、小田急線に乗って参宮橋駅で下車して徒歩7分、国立オリンピック記念青少年総合オリンピックセンターに到着する。2泊3日過ごすための荷物を置き、AグループとBグループそれぞれの集合場所でオープニングセレモニーとオリエンテーリングを行った。そこで今回の行事の到達目標である全員が英語でプレゼンテーションをするという事と、それぞれの講師の方々の紹介があった。開始当初は緊張感からか表情が硬くなっている生徒が多かったが、オープニング終了後に各教室での授業が始まると少しずつ表情に笑顔が増えていったように感じられた。

研修の内容は12・3人の授業グループに分かれて、スピーキングやディスカッション、講師の国について学ぶ異文化理解、リスニングやプレ



ゼンテーションの練習が集中的に行われた。昼食・夕食時も授業グループで講師と一緒に食事を摂り、朝食時と入浴時間・就寝前以外は英語漬けの内容だった。英語が得意ではない生徒もおり、準備と練習はかなり苦戦しているように見受けられたが、自分たちで発表する英文を考え、わかりやすく伝えるためにイラストを作成したりするなど各グループが工夫を凝らし、すべての生徒が英語でプレゼンテーションを行った。たどたどしいグループもあったが、この経験は彼らの自信につながったであろうと思う。今回の行事がこれから英語に対する向き合い方を見直し、近くは来年の修学旅行に向けての意識づけにつながったと感じられた。

イングリッシュキャンプ 行程表

	時間	スケジュール	備考
10月11日	10:30～11:20	オープニングセレモニー	講師の先生方と顔合わせを行う。
	11:30～12:20	昼食	グループごとに講師の先生を交えて。
	12:30～13:50	アウトドアオリエンテーリング	講師の国について学ぶ。
		異文化理解①	
	14:00～14:50	スピーキング①	自分のことについて話す。
	15:00～16:20	英語のディスカッション基礎	
		ウォームアップディスカッション	
	16:30～17:30	チェックイン	
	17:30～18:20	夕食	グループごとに講師の先生を交えて。
18:30～19:20	ディスカッション①		
19:40～21:00	入浴・自由時間		
10月12日	7:00～7:45	朝食	
	9:00～9:50	異文化理解②	講師を入れ替え、新たな講師の国について学ぶ。
	10:00～10:50	スピーキング②	自分の意見を述べる。
	11:00～11:50	ディスカッション②	世界に紹介したい日本について。
	12:00～12:50	昼食	グループごとに講師の先生を交えて。
	13:00～13:50	リスニング	講師の説明を聞き絵を描く。
	14:00～14:50	ディスカッション③	
	15:00～16:50	英語プレゼンテーションの基礎	3～4人のグループに分かれて発表の準備。
		グループ発表の準備	
	17:00～19:40	夕食	
入浴・自由時間			
19:40～21:00	クラス内コンテスト	グループの代表を決める。	
10月13日	7:30～8:15	朝食	
	8:30～9:20	チェックアウト	
	9:30～12:20	ウォームアップ	コースごとにグループ代表による発表
		最終発表	
	クロージングセレモニー		

修学旅行 in ニュージーランド



「キアオラ」

学年主任

鴨志田 修

今年度修学旅行はA団が10月7日から、B団は翌8日から6泊7日の行程で予定通り実施した。今年度もメインは3泊4日のファームステイである。オークランド市内からはバスで3時間あまり離れたケンブリッジやハントリー、オトロハンガなどの地区の各家庭に分散して過ごした。様々な農作業や家族とのコミュニケーションを通し、より深く異文化に触れることで感動も大きかったのではないだろうか。ファームステイ中、星空を眺めた生徒もいたと思う。南半球でしか見ることのできない星座を映像ではなく直に見ることのその感動は計り知れない。



千年以上も昔からマオリの人々も眺めたであろう夜空の星を同じように眺めることはまさにその場所に行かないと体験できないことである。また、7日間にも及ぶ集団行動の中ではクラスの友人と交流を深めることもできたであろう。

春先の南半球で体験したことをぜひ今後の人生の糧にしていきたい。そしてに修学旅行に関わったすべての方々に感謝を申し上げたい。

修学旅行 行程表

<2018年度 A団 10月7日(日) 発>

<2018年度 B団 10月8日(月) 発>

日次	月日(曜)	地 名	現地時間	交通機関	予 定
1	10/07(日) 10/08(月)	若葉駅周辺 成田第一ターミナル	12 : 00 15 : 30 18 : 30	バ ス NZ90便	成田空港第一ターミナルへ 山村国際高等学校様専用カウンターにて出国手続き 空路、オークランドへ (機中泊)
2	10/08(月) 10/09(火)	オークランド 各ファーム	09 : 05 17 : 00	バ ス	到着後、オークランド市内観光へ オークランド博物館 昼食 : FOUTUNA 見学後、ホストファミリーと対面、各家庭へ (ファームステイ泊)
3	10/09(火) 10/10(水)	各ファーム	終 日		ファームステイプログラム (ファームステイ泊)
4	10/10(水) 10/11(木)	各ファーム	終 日		ファームステイプログラム (ファームステイ泊)
5	10/11(木) 10/12(金)	各ファーム ロトルア	午 前 11 : 00 13 : 00 14 : 30 18 : 30	バ ス	ホストファミリーとお別れ アグロドームでの羊ショー鑑賞(約90分) 昼食 : スカイライン(約90分) (ゴンドラ乗車) ロトルア湖、ガバメントガーデン スーパー立ち寄り後、ホテルへ 夕食はマオリのハンギディナー (ステイマホテル レイク ロトルア泊)
6	10/12(金) 10/13(土)	オークランド	08 : 00 12 : 00		バスにて一路、オークランドへ オークランド市内班別研修 (昼食は各自)(本部 : OKギフトショップ) 夕食(ホテル内) (ホリデイ イン オークランド エアポート泊)
7	10/13(土) 10/14(日)	ホテル発 オークランド航空 成田第一ターミナル 川越駅西口 or 坂戸駅南口	06 : 30 07 : 15 09 : 55 16 : 50 18 : 00 21 : 00	バ ス NZ99便	朝食は空港にておにぎり弁当を配布 空路、帰国の途へ 川越方面・坂戸方面 2台ずつ

芸術鑑賞会

10月12日に3学年は、芸術鑑賞会で劇団四季によるミュージカル「キャッツ」を鑑賞した。人間に飼いならされることを拒否し、したたかに生きる猫たちの物語である。全編語りはすべて歌詞に込められ、音楽と圧倒的なダンスによって紡ぎだされる最上の物語。初めは何が起きているのかわからないまま、ふと気付くとこの圧倒的な音楽とダンスに魅せられていた。日常というものを忘却の彼方に追いやってくれた最上の物語であった。



活躍している部活動の紹介

ダンス部

7月28日、NHK「乃木坂46のガクたび！」にダンス部が出演した。乃木坂46のメンバーがダンス部に入部し、2つのチームに分かれてダンス対決を行うという企画だった。

撮影は一か月前から始まり、練習は本校に加えて近隣の公民館でも行った。ダンス対決本番は、坂戸文化会館において、生徒、教員の他に著名な振付家を審査員に迎えて行われ、両チームが仕上げた作品を披露しあった。

夏の大きな大会が控えていた事や、試験期間を挟んでの取り組みは部員にとって大きな挑戦であった。乃木坂46のメンバーは過密スケジュールの中で参加であり、急な出演者交代で練習期間が1日であつても言い訳もせず出番寸前まで努力を続けたメンバー

バーの姿に心を動かされた。この企画を通して得た成果や課題、それぞれが感じた喜びや悔しさを糧として更に練習に励んだことが、夏の全国大会での入賞につながったと信じている。



9月17日には、ミュージックステーションにて中森明菜さんの「DESIRE・情熱」をオリジナルダンスで披露した。この様な機会を頂き、また多くの方々への協力に感謝致します。

生物部

生物部では抗菌と腸内フローラの研究をしている。研究成果は、『日本微生物生化学会（沖縄）』や『高校生バイオサミット（山形）』などで発表をしている。

この成果発表には、ポスター発表と論文発表がある。前者は審査員を前にしたプレゼンが試され、後者はいかに高校生らしい研究が成されたかである。生物部は、この両者で入賞を果たしている。特に「日本微生物生化学会」では「最優秀賞」を『高校生バイオサミット』では、「審査員特別賞」を受賞した。一方、東京理科大主催の論文発表である『坊っちゃん科学賞』でも「入賞」を果たした。

今月末に横浜で催される『日本分子生物学会』では口頭発表を目指している。詳細は本校ホームページをご覧ください。



祝 西関東大会出場

『一致響力』与える感動、伝える感謝

生きた音楽、唯一無二のサウンドを届けろ

この言葉を胸に、私たち吹奏楽部は夏のコンクールに挑んだ。結果は金賞。埼玉県の代表バンドとなり、初の関東大会に出場した。

今年1月に部長が提案した私たちの合言葉は、顧問含め部員全員にしっかりとくるものであった。音楽をする以前の当たり前の事を当たり前に行い、コンクール結果にとらわれないこと、いつも通りの演奏を、思いの届く演奏を、目指した。

7月、県予選。思った以上にいつも通りの演奏を実現することが出来たと思う。3年生にとっては、「最後の演奏」というワードを頭に思い浮かべながら臨んだコンクールであったかもしれないが、想像もつかない結果を叩き出した。

本番の演奏よりも緊張する結果発表。「山村国際高校、ゴールド金賞！」とアナウンスされたとき、全員が歓喜を上げたいに喜んだ。ここまで耐えに耐え、音楽に没頭したからこそ反動だったと思う。さらには「1位」という順位も付き、喜びを通り越して全員が動揺していたことを鮮明に覚えている。山村国際高校吹奏楽部が、史上初の代表に選ばれた瞬間だった。

この後にも県、関東とコンクールは続くが、最高の景色は常にステージ上にあった。あの瞬間の景色と音楽は二度と味わうことが出来ないが、再び追い求めることは出来る。次に見ることのできるものはさらに良いものだろう。

最後に「悔しい」といえば、私たちは1点に泣いた。結果にとらわれないといいつつも、1点があったら次があった。全国が目の前にあった。

この思いは来年につながるはずだ。一致響力で最高の演奏を目指していきたい。



事務室だより

事務長 師岡 昇

皆様には、日ごろ授業料等の納入、国の就学支援金、及び埼玉県の父母負担軽減申請等では、大変お世話になり、皆様のご協力により手続きが完了しつつあります。

現在、皆様に提出いただきました、就学支援金・父母負担軽減等を提出し、結果を待っている状態です。

順調に処理が完了し、補助金が交付されましたら、初回申請の方へは、来年の2月末に授業料引落とし口座に振込処理をさせていただき予定です。

保護者の皆様は、この申請について提出または内容を確認したい場合、事務室までご連絡ください。

本年度の補助金事業も、皆様のご理解、ご協力をいただき順調に推進されており心からお礼申し上げます。

これからも、保護者・地域間とのコミュニケーションを円滑に行い、情報の共有化を図ることが、学校の活気ある原動力につながると思います。

全ての生徒が安心・安全、そして、勉強や部活動を打ち込める環境作りを整えていきたいと思っております。引き続きの、ご理解とご協力をお願いいたします。

TEL 049128110221
・山村国際高等学校

入試広報部より

オープンキャンパス

●本年度のオープンキャンパスは、中学生を対象に、七月七日(土)に開催した。



開場とともに多くの方に来校していただき三百二十名近い中学生と保護者に参加してもらうことができた。各部活、団体による講座や体験などに多くの方に参加していただいた。特に全国での活躍華々しいダンス部のパフォーマンスには多くの方が見に来て一番の歓声を受けていた。



体験部活・体験学習

●八月二十三日(木)、八月二十四日(金)に体験部活・体験学習が行われた。十の講座が開講され、多くの申し込みがあり活気ある二日間となった。

英会話教室では、ハーデイ先生、ホドソン先生が参加する中学生のレベルに合わせた創意工夫のある充実した英語を楽しむ時間を過ごすことができた。体験部活にも、昨年を上回る多くの中学生が参加して活気ある姿を見ることができた。暑さ厳しいなかであったが中学生それぞれが多量の経験を積むことができた2日間だったと思う。

来年度も多くの中学生に参加してもらい、少しでも本校のことに興味を持ってもらえるように企画を進めていきたいと感じた二日間であった。

